令和2年1月号（2020）

はくい（HAKUI）

市議会だより

No.84

羽咋市議会では、市民の皆さんへ議会の結果や市議会議員の活動を伝えることを目的として「市議会だより」を発行しています。
市議会議員は市民の皆さんの代表であり、市民の声を市政に反映させることが仕事です。何でもご相談ください。

主な内容

一般質問…… 2
各委員会報告…… 7
採決結果…… 9

コスモアイル羽咋から眺める北極星

令和元年第４回定例会の概要

令和元年第４回羽咋市議会定例会が12月２日から12月17日までの16日間開催された。提出された議案は、令和元年度羽咋市一般会計補正予算など議案12件。

初日の提案説明で山辺市長は、冒頭で令和２年度の予算編成方針について、新年度は「令和時代の羽咋創成」とし、第２期「がんばる羽咋創成総合戦略」の策定を行い、各種事業を実施するとした。

具体的には、羽咋駅周辺整備による「まちなか」の賑わい創出、雇用創出、移住定住の拡大、子育て支援などにより、人口減少対策や地域経済の好循環に取り組むと述べた。また、歳入では、ふるさと納税の推進などにより自主財源の確保に努めるとした。

その他の課題や諸報告として、第６次羽咋市総合計画、第７次行財政改革大綱、羽咋市立地適正化計画の状況、地域包括ケアシステムや小中学生の英語教育の推進、今年度の道路除雪対策等について説明した。

12月10日の質問日では10人の議員が質問に立ち、羽咋駅周辺整備、児童数減少による教育のあり方、地域循環バスの運用見直しなどについて質問した。

最終日の採決では、令和元年度羽咋市一般会計補正予算案など市長提出議案15件、諮問３件、平成30年度各会計決算を全会一致または賛成多数で原案どおり可決、認定、同意、適任とした。

浅野 俊二 議員

点数至上主義を是正し本来の教育を

羽咋小学校

全国学力テストに問題漏れがなかったのか

【質問】 ４月18日実施の全国学力テストで石川県がトップクラス。その中で羽咋市は際立って高いが本当に学力が全国一なら名誉なことだ。しかし、授業内容が著しく点数取りに偏り、過去に出題された事前対策授業が異常に多く、本来のカリキュラムが２週間も遅れているとの声も聞く。2016年文科大臣は「全国学力調査の前になると過去の問題集をやっている学校があると聞くが、とんでもないことだ」として、同年５月２日に文科省通知で、テスト前に過去問題を授業中にしない様にとの通知を出し、点数を上げる授業を禁止している。しかし、県内の実態は９日間で42回も行なっており、羽咋市はもっと多いと聞く。羽咋小校長室だよりでは、学力県内トップレベルを維持することを明確な目標にしている。羽咋小のテスト結果は、正答率国語93％（県平均72％）算数88％（72％）で大変高い。①４月18日の全国テスト当日直前でも、テストに類似した問題をだして、子どもに解かせていたと聞くが本当か。②テスト問題はいつ来たのか。③点数至上主義を改善すべきではないか。

【教育長答弁】 ①４月当初に朝自習10分間の実施計画に基づき、当日の朝は事前に作成してあった過去問題を朝自習の時間に行なった。②教育委員会に４月17日午前、学校には午後に業者から届いた。③点数至上主義に基づく取組は行なっていない。授業改善や指導力向上に地道に取り組んでいる。今後も現場の先生方の声に耳を傾けていく。カリキュラムは指導要領を踏まえ全ての教科において履修している。

酒井 一人 議員

10年20年後を見据え羽咋の姿を考えよう

千里浜海岸の景観を損ねるドレン管の露出

当事者として千里浜海岸保全をどう考えるか

【質問】 千里浜海岸で砂の海上投入残土は、約２万㎥で他での候補地を検討必要というが、今、護岸に溜まっている砂の量を調査すると、約４万㎥になる。ただし、再利用にはゴミや廃プラスチック除去の工程が必要、そこで現在溜まっている砂を再利用する考え方はどうか。

【答弁】 千里浜海岸の養浜事業で、人工リーフの設置・砂の海上投入・サンドバックで流出防止・ダンプによる砂の運搬と４つの手法があるが、私は人工リーフ工法が一番の効果策と考えている。これからは、実質何が養浜事業に効果があるかをしっかりと検証しながら、国や県に直接要望していきたい。

駅周辺整備防災対策で雨水貯留施設の検討を

【質問】 国策の防災・減災施策で、河川水位上昇を防ぐ工事の個別補助制度、市街地域での「雨水貯留施設」の緊急整備が検討されている。そこで提案であるが、将来を見据え、防災機能を有した旧マルシェ跡地の開発を考えている中、跡地の地下に、長者川の「雨水貯留施設」を整備することが、羽咋駅周辺整備の安全・安心のため重要であり、その雨水の融雪利用も考えられるがどうか。

【答弁】 豪雨による河川の氾濫を防ぐ防災対策として、「雨水貯留施設」は有効であると考えるが、大きな規模の施設整備と多額の費用が必要となることから、当該事業での整備は困難であると考える。雨水の再利用は検討課題とする。

浜名　等 議員

増え続ける空き家の実態と今後の対策を問う

空き家、空き店舗の活用を推進せよ

空き家実態調査の成果を活用せよ

【質問】市では、羽咋市町会長連合会の協力を得て空き家の実態調査を実施している。調査は前回の調査をもとに行われ、空き家棟数については把握されたが､空き家の状況調査は実施していない。空き家を使用できるか、できないかの可否については、誰が調査し判断をするのか。

【答弁】今年度、全町会のご協力をいただき空き家実態調査を実施し、887戸の空き家が確認されている。空き家の使用の可否については､来年度、移住、定住策として、空き家全棟を対象とした現地調査及び所有者の意向を踏まえた利活用調査を実施する。また、調査は町会長さんにお願いするのではなく市が委託業務として実施する。

新上中山インターの設置を県に要望せよ

【質問】上中山インターの設置は交通の利便性が大きく向上するうえ、クリンクルはくいや、羽咋郡市広域圏事務組合で検討されている新斎場へのアクセスもよくなると考える。広域的な視野を持ち、里山海道の4車線化に合わせた、インターの設置を県に要望することはできないか市長の考えを聞く。

【答弁】上中山町地内に新インターチェンジを設置することは、交通の利便性向上や原子力災害時の渋滞緩和につながると考えている。新インターの設置については、本市だけでなく近隣自治体の利用も考えられるため、関係自治体との協議が必要であり、今後の検討課題とする。

その他の質問
①マイナンバーカードについて
②羽咋駅周辺整備について

寺井 哲也 議員

災害に備えた安全・安心

歴史を守る文化財防火訓練

災害時の電源喪失に対応せよ

【質問】災害時の停電に対応した自己電源について①市役所の自己電源②指定避難所の自己電源③貸し出し用発電機④避難所の携帯電話、スマートフォン等の充電器の設置状況は。

【答弁】①市役所庁舎の非常用自家発電装置は、14時間程度の稼働が可能だが、国では外部からの供給なしで72時間の稼働を可能とすることが望ましいとしており、燃料タンクの増設を早急に進めていく。②指定避難所41施設のうち自家発電設備が設置されているのは、４施設。千葉県での大停電を教訓として、公民館を中心にポータブル発電機の配備を検討する。③貸し出し用発電機は６台で、災害状況を踏まえて対応する。
④携帯電話等の通信を確保するため、指定避難所に充電器の配備を進める。

重要文化財建造物の防火体制は

【質問】世界遺産である沖縄の首里城が火災で焼失した。国や県では建造文化財等に関する防火体制の調査等が行われている。重要文化財建造物が金沢に次いで多いが当市の防火体制は。

【答弁】例年１月に実施する立入検査を11月11日に前倒しで行い、初期消火に必要な消火器や防火バケツ、自動火災報知機などの設置状況を点検し、不備、不足のないことを確認した。来月には、仏像彫刻などの国指定重要文化財を所有する寺院にも同様の立入検査を行うとともに、５ヶ所で重要文化財防火訓練を実施し、自衛消防等と連携した緊急時の消火体制を再確認する。

子どもたちを取り巻く環境の変化に対応を

余喜小学校

櫻井 英一 議員

スマホ等の使用に伴う犯罪被害の防止対策

【質問】子どもがＳＮＳのやりとりだけで顔も知らない大人と会い、事件に巻き込まれるケースが後を絶たない。また、ＳＮＳは友達同士のトラブルを生み出しやすく、誹謗中傷やいじめの温床になる事が多い。本市の児童生徒がこのような犯罪被害やトラブルに遭わないための対策を聞く。

【教育長答弁】PTA連合会・校長会・教育委員会合同名で、保護者に対してスマホ等の適切な利用についてのチラシを配布し、夜９時以降の利用を控えることやフィルタリングをかけることを周知してきた。また、各校でネットトラブル防止教室の開催やPTAの発表会などで利用の危険性やトラブルについて話し合うなど、子どもや保護者に対し理解を深めてきた。

小学校の児童数減少に伴う今後の対応

【質問】市内小学校における今後の複式学級の予測を聞く。また、子どもたちにとってより望ましい教育環境を提供するという教育的観点から今後の小学校のあり方をどのように考えているか。

【教育長答弁】昨年度から余喜小学校が１学級の複式となっており、来年度以降は２学級の複式学級となる見込みである。また、令和５年度以降、西北台小学校でも複式学級が生じる可能性がある。本市は大きな教育の変革期を迎えようとしているが、未来ある本市の児童生徒の望ましい教育環境を考えるならば、ある程度の規模が必要である。

その他の質問
本市の学力・教育力の高さを生かす取り組みについて

地方創生推進交付金活用事業

羽咋市獣肉処理施設

山本 泰夫 議員

地域商社推進事業

【質問】「売れる商品」「稼ぐ仕組み」「自立する組織」の構築をする為に地域産品に付加価値をつけ、特産品の開発や販路の拡大商品販売等を行い、地域商品機能の拡充を図る事業である。本年は「のとしし」「能登うなぎ」「サツマイモ紅はるか」の商品開発が行われたが、売上、今後の見通し、都内のアンテナショップの経過と事業費、本年度ののとしし団の採算見通しは。

【答弁】本年11月までの販売実績は「のとしし」約670万円。「能登うなぎ」約130万円。「紅はるか」約460万円である。ネットワークやノウハウを活用し販売拡大に努める。アンテナショップの契約は平成28年度で終了。移住相談についても平成30年度に終了。事業費は約1,066万円を充当。「のとしし団」の収支見通しは、売上約2,700万円、経常利益は約800万円である。

自然栽培普及促進事業

【質問】自然栽培の研修、普及イベントの開催等を通じ、会員数、生産面積、水稲、はとむぎ、その他の収量、生産加工品数、認証収得者数は。

【答弁】年間約20回の研修会の開催、平成23年から延べ人数507名が受講。本年度の作付面積は、水稲16.2ha、穀類10.1ha、野菜7.2ha、合計33.5haである。生産量は水稲26t、はとむぎ２t、その他については、大豆、サツマイモ、人参などが生産されている。加工品は、レンコン、イチゴ、糀等である。認証収得者数は平成29年度から平成30年度まで57件である。

大塚 幸男 議員

素早い取り組みと実践で魅力度アップ

急がれる羽咋駅周辺整備

羽咋駅周辺整備と今後の見通し

【質問】羽咋市の玄関口の活性化や賑わい創出の最大かつ最後のプロジェクトであり、市民の関心も極めて高い。安全・安心のまちづくりからも河川改修に合わせて道路整備が急がれる。どの事業を優先し早期着手できるのか、各事業の事業期間や事業費概算など事業概要を示せ。

土地の利活用策について、先般サウンディング型市場調査が実施されたが、民間の投資意欲や民間目線で、どの程度関心を持っているか、また、市長として公共施設の配置や併設を含め、基本的な考えを持っているのか。

【答弁】まず建物を解体し、県事業となる河川改修の事業化を進める。都市計画道路の事業期間は、５年以上要し、概ね７億円を見込んでいる。

民間の投資意欲は、独立採算型事業は厳しいものの、企画次第では前向きな意見もある。公共施設等の配置は、賑わい創出に相乗効果が見込まれる民間商業施設との複合化を検討したい。

児童生徒数の減少による学校教育のあり方

【質問】児童数の減少により複式学級が増えるが、加配教員や市単独講師の配置など適切な対応は。

【答弁】余喜小で２学級だが、令和５年度以降新たに生じる。複式には級外教員が配置され、主要４教科は学年ごとに授業している。

新田 義昭 議員

子育て世代の育児や経済的負担軽減を

沈下する市道余喜83号線

放課後児童クラブの更なる減額を問う

【質問】昨年の出生は100人を下回った。令和になり、本年の出生は117人の出生予定と聞く。本年４月より、一ヶ月2,000円減額され、6,000円。父兄からは大変ありがたいと感謝されている。夫婦の共働き、少子高齢化が進む中、児童クラブに行く児童が増加する。更に1,000円下げていただきたい。市長の考えを聞く。

【答弁】児童クラブの登録者数は11月末現在、４施設で235人であり、利用料は、本年４月から2,000円減額している。７月に子育て世代の保護者へ実施した調査では、経済的支援の充実を希望する割合が高かったので、令和２年度からは利用料を引き下げていく。今後も子育て世代の育児や経済的負担軽減につながるよう利用しやすい体制づくりに努める。

市道のかさ上げと舗装工事を問う

【質問】市道邑知33号線の残り150ｍの舗装をお願いする。10年間に３～４回も市道の崩れや、堤防擁壁の倒れが発生。市道の補強と舗装を要望する。

市道余喜83号線も周辺の環境にふさわしくない。水害時には、通行できない。市道のかさ上げ工事を要望する。

【答弁】近年、本路線では、雨などによる路肩崩壊等が発生。今後、道路補強を含め対応する。

市道余喜83号線は、道路全体において地盤沈下が発生している。現地を調査し、安全面や、浸水状況等を考慮しながら対応していく。

その他の質問

①羽咋市の活性化対策について
②来年度の予算について

国土強靱化地域計画の早期策定が必要

岸　博一 議員

複式学級が生じた余喜小学校

国土強靱化地域計画の取り組みは

【質問】政府は、地域の防災、減災対策を促進させるため、地方自治体による国土強靱化の策定を促進させている。本市の昨年８月末の豪雨や今年の千葉県、長野県の甚大な災害を見ると、本市も早急に地域防災、減災対策を講じる必要があると考える。強靱化地域計画の策定の本市の取り組みはどうなっているのか。

【答弁】国土強靱化地域計画は、大規模な災害の発生に備え、応急、復旧を含めた防災、減災対策などを総合的に進める必要があるため、この地域計画策定の必要性を充分認識している。現在、防災担当課を中心に計画の骨子づくりに取り組んでおり、令和２年６月までに策定したい。

複式学級の編制見込みは

【質問】少子高齢化が進む中、昨年度本市の出生数が100人を切った。子供の減少は、小学校の学級編制にも影響が出る。昨年度から余喜小学校で複式学級が編制されたが、今後の見込みを聞きたい。また、市長は３年前に、余喜小学校を統合しないと明言したがその考えは今も変わらないのか。

【教育長答弁】余喜小学校では、来年度以降２学級の複式学級となる見込みである。令和５年度以降、西北台小学校においても複式学級が生じる可能性がある。

【答弁】３年前に統合しないと言ったが、複式が２年続いているので、いつかの時点で統合しないといけないのかと思う。教育委員会と相談しながら詰めていきたい。

河川の土砂撤去を急げ

北川 真知子 議員

土砂除去がすすむ子浦川

防災・減災対策を進めよ

【質問】相次ぐ水害を防ぐには河川の堆積土砂の撤去が有効である。平成30年から３ヶ年計画で進められている堆積土砂撤去について聞く。

　また、緊急避難情報を伝える防災行政無線は聞き取りにくい。白山市のように戸別受信機を整備する考えはないか。

【答弁】土砂の除去は、昨年度は長者川、子浦川、今年度は子浦川、吉崎川、飯山川で撤去が進められている。市管理の河川は、今年度、白石川ほか6河川において適宜実施していく。

　災害時の情報伝達については、防災行政無線の役割を補完する、羽咋市安全・安心メールの登録拡大が重要と考えている。戸別受信機の配備には、2億円の費用が必要であり、今後の検討課題。

市民の納得が得られるか

【質問】羽咋市特別職報酬等審議会は、特別職と議員の給与・報酬を引き上げるよう答申したが、その理由を聞く。また、市長は、常々市の財政は厳しいと説明しているがその認識は変わったのか。

【答弁】審議会は、平成18年度と平成20年度に減額答申を行っていること、市の財政状況が改善されていること、報酬額が県内の他市と比べ最下位であることなどから引き上げが適当と判断した。また、財政の指標は改善しているものの市政を取り巻く環境は依然として厳しいとの認識は変わらない。

その他の質問
認知症グループホームについて

予算常任委員会報告

◎大塚 幸男　○櫻井 英一　酒井 一人　岸 博一
浜名 等　北川真知子　寺井 哲也　稲村 信成
新田 義昭　塩谷 久司　中村 孝清　山本 泰夫
浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第44号「令和元年度羽咋市一般会計補正予算（第３号）」など議案５件。

12月11日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、議案第44号は賛成多数で原案のとおり可決、残りの議案４件は全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】産地パワーアップ事業について、農業における機械購入等に補助金を交付するとのことだが、どのような方が対象になるのか。

【答弁】地域の担い手となる認定農業者が対象となる。

【質問】夕日ヶ丘分譲地について、販売促進奨励金とは具体的に何か。

【答弁】分譲地の販売を仲介した不動産業者等に、契約が成立した場合の報酬として１区画につき50万円を交付する制度である。

【質問】ふるさと納税の返礼品について、返礼品として自然栽培の作物が人気であるが、今年の収穫は少なかったと聞いている。今後の対策を聞く。

【答弁】収穫高については天候の影響もあるが、大豆などを栽培して地力を付けていくことを検討している。

その他として、パソコン更新に伴うハードディスクの廃棄について、後期高齢者の人間ドッグ・脳ドッグの受診について、放課後児童クラブについての質問・答弁がされた。

総務民生常任委員会報告

◎寺井 哲也　○酒井 一人　櫻井 英一　大塚 幸男
塩谷 久司　山本 泰夫　浅野 俊二

当委員会に付託された案件は、議案第49号「羽咋市印鑑条例の一部改正について」など、議案５件。

12月12日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案５件については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】羽咋市印鑑条例の一部改正で、旧姓での登録が可能になった経緯について、説明を求める。

【答弁】主として女性の活躍を支えるための施策であり、すでに住民票には同様に記載している。

【質問】菅池辺地に係る公共施設の総合整備計画で、辺地債を活用していくつかの整備をしている。他の交付税措置として過疎債などがあるが、その違いは。

【答弁】過疎債は70％、辺地債は80％の交付税措置である。よって有利な辺地債を活用している。

その他として、議員及び特別職の報酬、給与の引上げについて、市職員の旧姓使用の状況についての質問・答弁がされた。

付託案件以外の所管事項として、介護保険事業における国からの交付金措置について、住民全体の介護予防活動についての質問・答弁がされた。

産業文教常任委員会報告

◎新田 義昭　○岸　博一　浜名　等
北川真知子　稲村 信成　中村 孝清

当委員会に付託された案件は、議案第54号「神子原農林水産物加工施設の指定管理者の指定について」など議案２件。

12月13日に委員会を開催し、詳細な説明を聴取し、慎重に審査した。

その結果、付託された議案２件については、全会一致で原案のとおり可決した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】議案第54号と議案第55号における指定管理者に支払う料金の内容は何か。

【答弁】どちらにも指定管理料は支払っておらず、議案第54号における株式会社「神子の里」については、施設の使用料を徴収しており、議案第55号における株式会社エムアンドエムサービスは、営業利益の50％で、年間最低保障額として、500万円の納入金を納入している。

【質問】千里浜宿泊施設について、日帰り温泉の開放や、地元町会との関係協力について、どのように考えているか。

【答弁】羽咋市の施設であるので、市民のニーズに応じて開放してほしいという要望をしている。また千里浜町会との関係については、２年ほど前から祭り用のオードブルの注文も受けるなど、地元に密着した活動をおこなっている。

付託案件以外の所管事項として、11月４日に行われた石川県原子力防災訓練の目的や内容について、夕日ヶ丘分譲地における広報活動について、会宝産業で取り組んでいるミニトマト栽培状況について、学力が高いといわれている全国学力テスト問題や、児童の通学における安全・安心を問う質問・答弁がされた。

決算特別委員会報告

◎浜名　等　○櫻井　英一　酒井　一人　岸　博一
北川真知子　中村　孝清

当委員会に付託された案件は、「平成30年度羽咋市一般会計歳入歳出決算」をはじめ、４つの特別会計の歳入歳出及び２つの企業会計決算。９月17日を１回目とし、計３回にわたり委員会を開催した。特に、予算が適正かつ効果的に執行されたか、また、市民福祉の向上に寄与し行政効果が十分発揮されたかを主眼に慎重に審査した。

その結果、委員会に付託された認定７件のうち、認定第１号、認定第２号及び認定第４号の３件については、賛成多数により原案のとおり認定した。認定第３号、認定第５号、認定第６号及び認定第７号の４件については、いずれも全会一致で原案のとおり認定した。

審査の過程での主な質問・答弁は以下のとおり。

【質問】情報関係の業務委託や保守点検に経費をかけ、人件費の抑制やサービスの向上を図っているが、職員むけの情報漏洩防止や研修などはどのように考えているか。

【答弁】業務の電子化を進めていく一方で、個人情報が漏洩しないシステムを考えながら、セキュリテイーの強化をしていく。

【質問】羽咋市の要介護認定の要支援1と2が減少しているが、認定が厳しくなったのか。

【答弁】平成29年度から総合事業が始まり、認定を受けなくてもサービスを受けられることになった。その該当者である事業対象者を合わせると全体的には減少していない。

【質問】特定環境保全公共下水道の普及率は、延びているのか。

【答弁】平成30年度では、73.1％となっている。

その他として、配食サービス委託料の内訳や高齢者の虐待に係る羽咋市の現状について、水道管の老朽化に伴う経費について、農業集落排水や浄化事業の普及率を問う質問・答弁がされた。

平成30年度の各会計決算においては、各事業の成果は表われているが、当委員会の指摘・要望事項を十分理解し、今後も迅速かつ的確な事業展開と財政運営に努めていくことを当委員会の総評とする。

令和元年 第４回定例会 12月議会 議決一覧

◇　令和元年度羽咋市一般会計補正予算など議案12件、平成30年度羽咋市一般会計歳入歳出決算など認定７件、追加提出された人事案件６件を原案のとおり可決、認定、同意、適任とした。

■全会一致で議決された議案

	議　案　名	議決結果
市長提出議案第45号	令和元年度羽咋市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	可　決
市長提出議案第46号	令和元年度羽咋市後期高齢者医療特別会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第47号	令和元年度羽咋市介護保険特別会計補正予算（第２号）	可　決
市長提出議案第48号	令和元年度羽咋市水道事業会計補正予算（第１号）	可　決
市長提出議案第49号	羽咋市印鑑条例の一部改正について	可　決
市長提出議案第53号	菅池辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	可　決
市長提出議案第54号	神子原農林水産物加工販売施設の指定管理者の指定について	可　決
市長提出議案第55号	千里浜宿泊施設の指定管理者の指定について	可　決
市長提出認定第３号	平成30年度羽咋市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第５号	平成30年度羽咋市千里浜財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認　定
市長提出認定第６号	平成30年度羽咋市水道事業会計決算の認定について	認　定
市長提出認定第７号	平成30年度羽咋市下水道事業会計決算の認定について	認　定
市長提出議案第56号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同　意
市長提出議案第57号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同　意
市長提出議案第58号	千里浜財産区管理委員の選任につき同意を求めることについて	同　意
市長提出諮問第３号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任
市長提出諮問第４号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任
市長提出諮問第５号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	適　任

■意見が分かれた議案

○は賛成　×は反対　欠は欠席

	議　案　名	酒井一人	岸博一	浜名等	北川真知子	寺井哲也	櫻井英一	稲村信成	大塚幸男	新田義昭	塩谷久司	中村孝清	山本泰夫	浅野俊二	議決結果
市長提出議案第44号	令和元年度羽咋市一般会計補正予算（第３号）	○	○	○	×	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	欠	○	○	可　決
市長提出議案第50号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	可　決
市長提出議案第51号	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	可　決
市長提出議案第52号	一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	可　決
市長提出認定第１号	平成30年度羽咋市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	認　定
市長提出認定第２号	平成30年度羽咋市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	認　定
市長提出認定第４号	平成30年度羽咋市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	×	○	○		○	○	○	欠	○	○	認　定

議会活動報告

８月 ９日(金)　・議会全員協議会
(1) 幼児教育・保育無償化及び副食費の取扱について
(2) 夕日ヶ丘分譲地の販売促進について
(3) 一般国道159号（羽咋道路）用地の先行取得について
(4) 指定管理施設のモニタリング評価結果について

８月28日(水)　・議会改革特別委員会
(1) 議会議員政治倫理条例について
(2) 議会でのタブレット端末導入について

10月10日(木)　・能登五市議会議員研修会
(1) 地方議員をめぐる現状と求められる課題について
(2) 市町村合併と地方分権について
(3) 地域の多様な意見の「市政での反映と集約について」
※ 講師：全国市議会議長会 事務総長　滝本純生 氏

10月11日(金)　・議会改革特別委員会
議会議員政治倫理条例について：倫理基準、遵守事項、審査請求など

10月16日(水)　・議会全員協議会
羽咋駅周辺整備事業について

11月11日(月)　・議会全員協議会
(1) 証明書コンビニ交付サービスの開始について
(2) 羽咋市立地適正化計画について

11月26日(火)　・議会改革特別委員会
羽咋市議会議員政治倫理条例(案)について

お知らせコーナー

「市民の声」を募集

市議会だより編集委員会では、市民の皆さまの声を募集しています。議会に対しての感想などがありましたら、下記までお気軽にお寄せください。
〒925-8501　羽咋市旭町ア200　羽咋市議会事務局　☎22-7160　FAX 22-7210
Ｅメール　gikai@city.hakui.lg.jp

傍聴してみませんか

市庁舎５階の議場入口で、住所、氏名、年齢を記入するだけで自由に傍聴できます。次の議会定例会は３月上旬に開催予定です。一度、傍聴してみませんか。

●インターネットでも視聴できます

羽咋市議会では、本会議の審議状況を市のホームページで映像配信（生中継）しています。また、録画映像も配信しており、常任委員会についてもご覧いただけます。

●アクセス方法

「羽咋市公式ホームページ」を開き、トップページ中段の「羽咋市議会」をクリックし、「インターネット議会中継」の欄から視聴したい項目をクリックしてください。

編集後記

今回、「市議会だより編集委員会」の組織替えがありました。編集委員のメンバーの変更はありませんでしたが、委員長を酒井一人が、副委員長を櫻井英一が担当することになりました。

市議会議員は改めていうことではありませんが、公職選挙法の第３条において「公職の定義」に表記されているように「公職」であり、直接選挙で選ばれた「公共の利益のために働く公の職」であります。

さらに市民の皆さまに自分たち市議会議員の活動が、手に取るようにわかりやすい「市議会だより」をお届けできるように、編集委員そして、議会事務局の皆さんと共に考えながら創りたいと思います。ご意見等がありましたら、私どもにお気軽に声をお聞かせください。

（酒井　一人）

市議会だより編集委員会

委員長	酒井　一人
副委員長	櫻井　英一
委　員	岸　博一
	北川真知子
	新田　義昭

市議会だより　No.84　令和２年１月号（2020）
発行者／石川県羽咋市議会
編集者／市議会だより編集委員会
〒925-8501　石川県羽咋市旭町ア200番地
TEL 0767-22-7160　FAX 0767-22-7210　http://www.city.hakui.ishikawa.jp